

# いちばんぼし

## 小田北卒業 大きくはばたけ!

～ 3年間の総括、雑感、あるいは、キミタチに送るエール～

中学校生活が終わります。早いねー。ホントに早いねー。こないだ入学してきたばかりなのにねー。4月からは「高校生」になっちゃてるんだもんね。「高校生」だってよー。きゃー、「高校生」ですわー。

この3年間、キミタチはたくさんを経験し、たくさんのこと学び、たくさんものを吸収しました。たぶん。いや、キミタチは気づいていないかもしれないけど、絶対。それは、行事への取り組みの中でだったり、部活動の中でだったり、日々の友達とのじゃれ合いの中だったり…。背が大きくなったり、体重が増えたり、力が強くなったりするのと同じように、キミタチのココロも大きく成長しているのです。

ワタクシたち先生チームもキミタチの横を必死で走ってきました。いま、キミタチと過ごしたこの3年間を振り返ると、「たんぼぼの綿毛を、フーッってした」あとの気分です。吹かれたたんぼぼの綿毛は、吹かれるに任せてあちこちに飛んでいきます。ある綿毛はそのまま辺りに着地し、ある綿毛は風に乗って遠くまで飛び、ある綿毛はもしかしたらまだ空中を漂っているかもしれません。さあ、無事に着地した綿毛は、いつ芽を出すのでしょうか。明日かもしれないし、3ヶ月後かもしれないし、3年後かもしれない。もしかしたら30

第3学年 年後??楽しみー♡ 芽が出るまで気づかれることのない綿毛たち。どんな花を

H31.3.6 咲かせるのかわからない綿毛たち。「先生にフーッってされたことなんてな

卒業直前号いよ!」と思ったキミ。それは、綿毛をフーッってされていることに気づい

ていないだけです。お父さんお母さんも今までずっとキミタチをフーッとしてきたはず。キミタチの友達だって、キミのことをフーッとしてるはず。

もちろん小田北中学校の先生たちだって、毎日毎日フーッってキミタチの綿毛を飛ばそうとしてきました。それはキミタチを笑顔でホメているときだけではなくありません。時には大声で怒鳴っている瞬間かもしれないし、時には冷たく突き放している時かもしれません。中学校の先生の仕事は、キミタチの可能性を広げ伸ばすこと。学校とは、キミタチの可能性を広げ伸ばす場。「綿毛」はキミタチが持つ様々な可能性の「タネ」。フーッってする人は「タネ」を運ぶ「風」。キミタチはたくさんの「風」に囲まれて、自分を成長させていくのです。新しい場所でも元気でやれよー!しんどいことがあってもヘコタレたらあかんよー!キミタチはこの3年間でたくさんの綿毛を飛ばしてきたんだから。

気がつけば先生たちの手のひらに、綿毛を飛ばしたあとのたくさんの茎。「たんぼぼの綿毛をフーッってした」あとの先生たちは、それまでたんぼぼの綿毛がしがみついていた茎を握りしめ、綿毛の未来を思うばかりです。

卒業式。みんなで同じ時を過ごすことができる最後の舞台です。ココロを震わせる呼名の返事と合唱。たくさんの可能性の綿毛が一斉に舞う。そんな場に。





みんなの卒業式を

みんなで作る

最後にみんなのできること

